



## 「仕事と育児の両立が大変なんです！」

この相談も「現場の声」として多くの方から寄せられます。私自身、三人の男子の父ですが、仕事しながら育児ってホントに大変ですね。家事は増え、睡眠時間は減り、遊び相手したら疲労困憊し、小遣いは子どものお菓子とおもちゃに消え、と、すごい苦勞しました。でも、その苦勞以上の喜びを得られるのも子育てですよね！そんな子育てが今、「贅沢」とまで言われる国に日本はなりつつあります。背景には子育てのハードルの上昇があげられます。



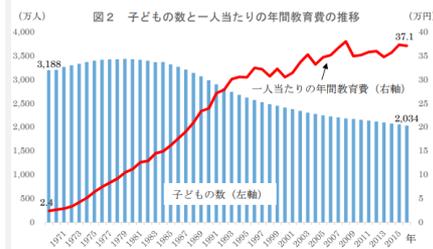
## 上昇し続ける育児のハードル

### 実質賃金の低下



賃金が増えてもそれ以上に物価が上がったら、生活は豊かになりません。受けとる賃金から物価の影響を除いた**実質賃金**は**20年以上低下し続けています**。

### 教育費の増加



実質賃金が低下する一方で、**年間の教育コストは20年で10万円程度上昇**しているという試算があります。ここに物価上昇が加わると、泣き面にハチです。

### 共働きの増加

【共働き世帯】  
20年で**1.5倍**  
夫婦の約**7割**

共働きが一般化したことで、夫婦が育児・家事にかけられる時間が減少しています。

### 低い育休取得率・日数

(2023年)  
女性取得率：**80.2**  
男性取得率：**17.1**  
政府目標は2025年に**50%**だが...

共働きが一般化したにも関わらず男性の育休取得率は低く、取得率が高い職場ほど日数が少ないというデータもあります。

## 解決に向けた郡山りょうの政策

育児の様々な負担を減らし、子育てしやすい社会を作ります

子どもってすぐ熱を出すから有給休暇が夫婦そろってすぐなくなってしまう...



有給休暇を入社直後から取得可能にし、最低付与日数を20日、最高付与日数を25日に増やします！

有給休暇とは別に家族の看護休暇などをあらゆる企業で取得できるようにします！



いまの賃金で、子どもを育てられるか不安...



みなさんの仕事や商品の価値が認められる社会を作り、賃金の上昇を図ります！

就学前～高等教育にかかる費用の原則無償化を進めるとともに義務教育での給食の完全実施と無償化も進めます！



共働きで育児・家事の時間がなかなか確保できない



時間外・休日・深夜労働の割増率を50%以上に引き上げることで労働時間の削減を図ります！

働く人のニーズに合わせてフルタイム労働と短時間労働をいつでも切り替えられる制度の導入支援を行います！

